

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターでいじい		
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様な資格や職務経験のある職員でチームが構成されているため、いろんな事例を経験している。多方面からの意見が反映される。	支援計画や支援方法について、意見の交換。	
2	就学に向けての相談や支援内容の共有。	県が作成している、サポートファイル「かけはし」を積極的に取り入れ、小学校へと支援を繋げている。	「かけはし」に加え、高松版のサポートファイルも併用をすすめている。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での支援計画と支援方法の統一化が難しい。	職員それぞれに多種多様な資格と経験からの主張が強く、意見が折り合わないこともある。	他者の意見の尊重と協力体制。「報・連・相」の徹底。
2			
3			